

るるぶ鮎サロン

2023年度第1回例会報告

実施日：2023年4月11日（火）

「城下町犬山を訪ねて」

2023年度の第1回は懐かしの犬山でした。

名鉄犬山駅で集合して、駅舎も駅前の風景もずいぶん変わっていて皆びっくり。

駅を出発して犬山城方面を目指します。観光客が散策できる本町通りが近づくにつれ古民家を改装したお店が見られるようになり、今回の昼食箇所「舞妓寿司 五とう」もその1軒でした。築100年という古民家を改装した店内は歴史を感じる落ち着いた佇まい。静かにジャズが流れ、時間がゆったりと過ぎるようです。

城下町犬山は昔 花街があり舞妓・芸妓さんが活躍していたそうです。

芸妓さんたちが一口で食べることができるようにという「舞妓寿司」をいただきました。

色鮮やかな季節のお料理と舞妓寿司のセットでした。

食事のあとは、犬山城まで賑やかな本町通りを散策。ついつい1軒ずつお店を覗き、犬山名物「げん骨飴」などの試食や買い物を楽しみました。この本町通りは平日なのにシニアだけでなく着物姿で歩く若い人達も多く楽しんでいて、コロナは少しづつ落ち着いてきたんだと実感しました。

毎年4月1日（試楽祭）～2日（本楽祭）の犬山まつりでは13両の「車山」や「からくり奉納」を見ることができますが、当日訪れることができずとても残念でした。

街並みにある「IMASEN 犬山からくりミュージアム」では九代玉屋庄兵衛氏（茶運び人形）の実演を見ることができます。上演時間が合わず今回は残念ながら通過。

続いて、旧名鉄犬山ホテル跡地にオープンした「ホテルインディゴ犬山有楽苑」を訪ねました。このホテルのレストランは現在1箇所だけでお食事のみとのこと。ホテルでのティータイムはあきらめ、ロビー周りの見学と記念撮影をして、木曾川沿いの遊歩道をゆっくり歩きました。振り返って見上げると犬山城。川の流れも吹き抜ける風も気持ちよく、犬山遊園駅に向かって歩くことにしました。

かつて川沿いであってみんなが親しみを感じていた宿泊施設も無く、すっかり様変わりした風景に時代の流れを感じ、岐阜支店で一緒に働いていた当時から半世紀近くが経過していることを痛感しました。

途中の「珈琲工房 貴船」でティータイム。お店の前では地もの野菜、竹の子などを無人で販売していて、お買い物好きな会長、副会長は早速 購入していました。

かつて歓送迎会や忘年会などで訪れた犬山での懐かしい思い出を語り合う、ほのぼのの例会となりました。晴天に恵まれた春の一日、今回も満足・満腹・満喫！！

—記 里見—





